

(別紙様式4)

職業実践専門課程の基本情報について

(平成28年度)

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
専門学校北日本 自動車大学校		昭和59年11月30日	齋木 修二		〒079-1371 北海道芦別市上芦別町118番地132 (電話) 0124-22-3811	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 土岐学園		昭和39年2月10日	齋木 寛治		〒509-5117 岐阜県土岐市肥田浅野朝日町2-7 (電話) 0572-55-8511	
目 的	実社会に適した、自動車整備士としての専門の知識技能を授けると共に、一般教養を高めて健全なる国民の育成のため、学校教育法に基づき専修学校教育を行うことを目的とする。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	専門課程	ボデーリペア科	2年(昼)	1,880時間	平成13年3月8日 文部科学大臣告示第30号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		652時間	時間	時間	1365単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人		2人		3人	人	3人
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無 ■成績評価の基準・方法について 成績評価規程による5段階及び、 GP、GPA	
長期休み	■春 季：3月20日～4月7日 ■夏 季：7月28日～8月20日 ■冬 季：12月23日～1月17日			卒業・進級条件	学則第14条第1項 認定基準による。 学科、年間総得点数の60%以上、実技 70%以上、出席90%以上	
学生指導	■クラス担任制 (有) 無 ■長期欠席者への指導等の対応 三者面談、家庭訪問、指導記録			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア協議会 ■サークル活動 (有) 無	
主な就職先	■主な就職先、業界 自動車ディーラーなど自動車業界 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合※2 100% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年2月時点 の情報)			主な資格・検定	三級自動車ガソリンエンジン整備士、自動車車体整備士	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0 %</p> <p>平成27年4月 1日在学者 2名 (平成27年4月入学者を含む)</p> <p>平成28年3月31日在学者 2名 (平成28年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>担任、寮監による面談・指導、保護者を交えての三者面談、聞き取り調査、指導記録</p>
ホームページ	URL:http://www.a-tec.jp

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年10月1日現在

名 前	所 属
高橋 克嘉	芦別市総務部企画課長
坂井 大樹	(株) 芦別モータース 専務取締役
中山 透	東和自動車整備工業(株) 代表取締役社長
齋木 修二	校長
斉藤 敏幸	教頭
落合 義信	事務長
山田 恵一	広報部長

(開催日時)

第1回 平成26年6月16日 15:00～17:00

第2回 平成27年2月16日 15:00～17:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
車体実習 板金	パネル修正作業の手順、パネルの変形の確認をしながら板金修正作業及び必要な工具の選定、ハンマーとドリルの取扱い、 <i>ハンマリングのテクニック</i>	(株) 芦別モータース
車体実習Ⅱ 塗装・調色	塗装テクニックを習熟させ、ソリッド色、メタリック、マイカ等の2コート色の補修塗装ができる。又、塗装不具合の対処ができる。	(株) 芦別モータース

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員研修規定に基づき、研修委員会が研修プログラムを企画し、連携企業による職員研修を実施する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
大下 睦夫	芦別商工会議所 専務理事
林 秀樹	空知交通(株) 専務取締役
西田 良史	カーショップ・ニシダ 代表
阿部 真則	芦別市
齋木 修二	校長
斉藤 敏幸	教頭
落合 義信	事務長
山田 恵一	広報部長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:http://www.a-tec.jp/report/k_assessment.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.a-tec.jp/report/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 ボデーリペア科 1年次 [3級課程] 平成28年度										No.1
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			詩吟	整備士に必要な明るく元気に声を出せること。また礼儀、服装など、節度ある態度が身に付くことを目的として行います。	1前後	30		○		
○			自動車総論	職場、中堅従業員の心得、効果的な仕事の進め方などを理解して、将来中堅従業員としての仕事とその役割を理解する。	1前	10		○		
○			ガソリンエンジン構造	ガソリンエンジンの部品名称、構造、作動、基礎技術や、新技術を導入し三級自動車整備士資格合格を目指す	1前後	51		○		
○			シャシ構造	シャシ部品の名称、構造、作動、基礎技術を含め基礎整備内容を主体とし、また新技術を導入し三級自動車整備士資格合格を目指す	1前後	62		○		
○			電装品構造	エンジン電装部品の名称、構造、作動、基礎技術を含め基礎整備内容を主体とし、新技術を導入し三級自動車整備士資格合格を目指す	1後	29		○		
○			自動車数学	三級自動車整備士問題の計算問題の過程を丁寧に解説し克服させ整備技術者を養成し国家資格合格をすることを目的とする。	1前後	30		○		
○			自動車材料	自動車三級自動車整備士を養成するため、車体、シャシ、エンジン各部の部品名称、材質、特性を習得する。	1前	8		○		
○			自動車環境	自動車排出ガスの種類、排出ガス浄化を習得し排出ガスがおよぼす汚染状況を把握する。	1後	7		○		
○			ガソリンエンジン整備	構造作動を理解し、正確に測定作業の知識を身に付け、的確に不具合箇所を診断し、故障を導き出せることを目的とする。	1後	9		○		
小計					9	科目	236	単位時間 (単位)	

授業科目等の概要

(工業専門課程 ボデーリペア科 1年次 [3級課程] 平成28年度							No.2			
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			シャシ整備	構造作動を理解し、正確に測定作業の知識を身に付け、的確に不具合箇所を診断し、故障を導き出せることを目的とする。	1後	9		○		
○			電装整備	構造作動を理解し、正確に測定作業の知識を身に付け、的確に不具合箇所を診断し、故障を導き出せることを目的とする。	1後	9		○		
○			三級演習	三級自動車整備士資格合格を目指し、今までの学習内容を復習する。また過去問題を中心に組み組み苦手分野を克服する。	1後	86		○		
○			整備機器	整備作業に適した、整備機器を選択し、正確及び安全に作業できること。作業終了後は保守管理ができること。	1前	18		○		
○			自動車法規	三級自動車整備士に必要な、道路運送車両法、保安基準を習得すること。	1前	18		○		
○			基本実習 測定	一般測定機器の取り扱い、測定及びDMMのキットを作製させ、半導体の基礎知識またDMMを使用して点検方法を修得	1前	30				○
○			基本実習 手仕上げ	丸棒から六角ナットを製作する各工程に使用する工具や測定機器及び旋盤の取扱い使用方法、注意事項の修得	1前	30				○
○			基本実習 ツール・設備	手持ち工具、一般特殊工具の名称、正しい使用方法やネジに関する基礎知識並びにジャッキリフトの使用方法、安全作業を修得	1前	30				○
○			基本実習 I エンジン	ガソリンエンジンの分解・組付、始動、工具の選択や使用方法及び各部の名称、構造、作動、測定 4気筒バルブ・タイミング・ダイヤグラム	1前	90				○
小計					9	科目	314	単位時間 (単位)		

授業科目等の概要

(工業専門課程 ボデーリペア科 1年次 [3級課程] 平成28年度								No.3		
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			基本実習Ⅰ シャシ	MTの脱着作業及びクラッチの分解、組み付け、点検及び、MTの分解、点検、組付け、構造、作動、並びに適切な工具の選択及び使用方法を修得、ATの基本動作	1前	90			○	
○			基本実習Ⅰ 電装	点火、始動、充電装置の各構成部品及び回路及びスター・モータ、オルタネータ、IGコイル、イグナイタ、スパークプラグの点検、測定の方法を修得	1前	90			○	
○			基本実習Ⅱ シャシⅠ	デリアル・シャシ、プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト、エバール・ジョイントの構造、機能、点検方法及びブレーキの種類、基本構造を理解、習得する。	1後	80			○	
○			基本実習Ⅱ シャシⅡ	サスペンションの種類、ホイール・アライメントの働き、ステアリング、タイヤ、ホイールの基本構造を理解し、正確な測定、点検、分解、組み付け、調整ができること。	1後	80			○	
○			基本実習Ⅱ エンジン実車	エンジン脱着作業及び、電子制御装置のセツク、アクチュエータ、コンピュータの働き、潤滑装置の部品名称、作動点検、冷却装置の部品名称、作動、点検	1後	80			○	
○			基本実習Ⅲ 総合	日常点検、定期点検時期、継続検査について理解する。	1後	40			○	
小計				6	科目	460 単位時間 (単位)				
合計				24	科目	1010 単位時間 (単位)				

授業科目等の概要

(工業専門課程 ボデーリペア科 2年次 {車体課程} 平成28年度										No.1
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			詩吟	整備士に必要な明るく元気に声を出せること。また礼儀、服装など、節度ある態度が身に付くことを目的として行います。	2 前後	26		○		
○			車体構造	自動車車体の基礎理論、構造機能、新しい機構を理解し、近年の新機構なども合わせて修得して、車体整備士資格取得を目指す	2 前後	23		○		
○			材料力学	自動車の強度、力学、油圧機器の原理などを習得し、近年の新機構なども合わせて修得して、車体整備士資格取得を目指す	2 後	10		○		
○			材料	自動車車体用材料の分類と種類及び材料を理解し、近年の新材料なども合わせて修得して、車体整備士資格取得を目指す	2 前	10		○		
○			板金	鋼板に発生する損傷と板金作業の概要を理解し、損傷が発生している部品の構造、素材を理解する。各種板金器具と使用方法	2 前	10		○		
○			塗装	塗装作業の定義、環境の保全と作業者の安全衛生、塗料など危険物の取扱い、管理に配慮し、近年の新塗料なども合わせて修得。	2 前後	30		○		
○			溶接	自動車車体、車枠整備に用いられる各種溶接各種溶接機の特長、ろう付け、ハンダ付け及び、近年の新技术なども合わせて修得。	2 前後	20		○		
○			車体整備	車体整備の目的、車体整備と検査、不正改造の防止や、近年の新機構なども合わせて修得します。	2 前後	81		○		
○			車体演習	過去の車体整備士問題を参考にして、基礎工学、車体の構造と機能、車体整備、塗装、法令を理解し、車体整備士資格取得を目指す。	2 後	59		○		
小計					9	科目	269 単位時間 (単位)			

授業科目等の概要

(工業専門課程 ボデーリペア科 2年次 [車体整備士課程] 平成28年度										No.2
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			自動車検査	車体整備を行う場合は、不正改造を防止するため保安基準を理解し、車体整備士資格取得を主目的とする。	2後	7		○		
○			車体実習 ボデー点検	事故修理車のボルトオンパネルの脱着、建付け調整、及び保安基準に適合しているか等、点検・検査を行える。	2後	35				○
○			車体実習 板金	パネル修正作業の手順、パネルの変形の確認をしながら板金修正作業及び必要な工具の選定、ハンマーとドリルの取扱い、ハンマリングのテクニック	2後	60				○
○			車体実習 パネル整形	パネルベースで整形作業、仕上げ作業(ならし作業、パテによる充てん)パテ修正による面出し、プラサフ塗装技術を修得する。	2前	90				○
○			車体実習Ⅰ 塗装	新車塗装、補修塗装、基本的塗装テクニックを修得する。ソリッド・カラー、メタリック・カラーの塗装テクニックを修得する。	2前	90				○
○			車体実習Ⅱ 塗装・調色	塗装テクニックを習熟させ、ソリッド色、メタリック、マイカ等の2コート色の補修塗装ができる。又、塗装不具合の対処ができる。	2前	90				○
○			車体実習Ⅱ ボデー修正	フレーム修正機の基礎的な知識、正しい固定セット・リセットができる。 ボデー損傷状態の確認、樹脂製部品の修理	2前	110				○
○			車体実習Ⅱ フレーム修正	フレーム修正機で正しいボデー寸法計測が行える。ボデー損傷、変形の確認ができ効果的な引き作業へと導くことを取得する	2前	110				○
○			車体実習Ⅲ 溶接	車体修理に当たりパネル取替作業も行われることから、各種溶接機が基本的に使用で安全に作業できることを修得する。	2前	30				○
小計				9 科目		622 単位時間 (単位)				

授業科目等の概要

(工業専門課程 ボデーリペア科 2年次 [車体整備士課程] 平成28年度										No.3
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			車体実習Ⅲ 見積もり・検査	事故修理見積りの基礎、大小ダメージ車の見積り及び見積り内容について、お客様に保説明。保安基準の適否の判定	2 前	110				○
小計				1	科目	110 単位時間 (単位)				
合計				19	科目	1001 単位時間 (単位)				